



市政、**ごまご**が知りたい!

一般質問 (要旨)

6月定例会では、次の22人の議員により、市政に関する一般質問が行われました。数多くの質問の中から、1人につき1項目を選び、質問と答弁の要旨をご紹介します。なお、答弁文末の()内は、主な所管課です。

合併浄化槽清掃業者の区域指定問題について

三浦 和一 議員

問

①浄化槽の清掃管理者の区域を指定するようになった経緯②区域指定が行われている六業者の一般的な清掃料③業者をある程度自由に選べるようにした場合のメリットとデメリットについて、それぞれ伺いたい。

答

①一定の業者が責任をもつて定期的に各家庭の浄化槽を清掃できるよう昭和六十三年から区域割を設けている。②立米単位の平均で税込み一万二千百十円である。③メリットとしては競争原理の反映、デメリットとしては清掃業者を頻繁に変えることによる定期清掃の時期の遅れ等の懸念があげられる。家庭から出る生活排水を浄化し、市内の河川や水路の水質汚濁を防止するため、年一回の定期清掃がほぼ定着している現在の区域指定のメリットを生かしていきたい。

○その他の質問項目

「後期高齢者医療制度の実施に伴い廃止となったサービスの継続について」ほか

小・中学校の一般教室に冷房設備を

常見 勝 議員

問

本市の小・中学校には壁掛け式の扇風機が設置されている。しかしながら、昨年の夏、日中の気温が日本一を記録したこと、さらなる暑さ対策が必要と思われる。そこで、リース契約等により教室に冷房設備を設置できないか。

答

小・中学校の全普通教室は約六百教室あるため、全普通教室へのエアコン設置には、約十三億八千万円の費用が見込まれる。リース契約により教室に設置する方法もあるが、その場合、概算で年間約三億円が見込まれる。学校施設については、耐震化を最優先して整備を進めており、また、壁掛け式扇風機を設置したところでもあるので、全教室への冷房設備の設置は現在難しい状況にある。しかしながら、壁面緑化や樹木の植栽等により、環境に配慮して涼をとる方法など各学校において工夫して対応していきたい。

(教育総務課)

熊谷市交通安全都市宣言の本市における取組について

黒澤 三千夫 議員

問

①飲酒運転撲滅に向けた本市の取り組みは②公共交通機関の充実に向け幅広い分野の関係者により検討を行う考えはないか③次世代交通システムを含めた交通計画策定の考えはないか、それぞれ伺いたい。

答

①熊谷警察署や関係団体等と連携を取りながら、飲酒運転根絶に向けた啓発活動の充実に努めていく。②交通関係団体が熊谷警察署の傘下に多数あるので、定期的な意見交換の場の設置に向け働きかけを行っていきたい。③近年、少子高齢社会の進行やCO2削減を柱とした環境対策などから、公共交通の重要性はますます増加している。こうした中、本市の交通網を、将来を見すえて総合的、体系的に位置付ける交通計画の策定は重要な課題であると認識している。

○その他の質問項目

「安心安全課」
「エコキヤップ推進活動について」

学校の耐震化について

大久保 照 夫 議員

問

①耐力度調査と耐震診断の基準は②こうした調査、診断の対象となる義務教育施設数③耐震補強した数④耐震工事により、どの程度の地震に耐えられるのか⑤大里中学校の耐震化工事の内容と耐用年数は、それぞれ伺いたい。

答

①耐力度調査は改築の場合に、耐震診断は耐震補強の場合に行われる。また、校舎は耐震補強を中心に、屋内運動場は基本的に改築で対応している。②校舎の耐震診断はすでに終了しており、耐力度調査が必要な旧耐震基準の屋内運動場は二十三校である。③昨年度までで校舎が四十校である。④震度六強から七の強い地震に対しても倒壊せず、人命を保護することを目標に設定されている。⑤鉄骨ブレースの増設等を行う予定で、建築から六十年が処分制限期間となっている。

○その他の質問項目

(教育総務課)
「壁面緑化事業について」